

大阪府立豊島高等学校協議会・会議録

平成27年度 第二回大阪府立豊島高等学校協議会開催記録

開催日時	平成27年10月9日（金）
場所	豊島高等学校校長室
出席者	<p>委員</p> <p>門脇英純（大阪成蹊大学教授） 末永純一（箕面市立第五中学校）</p> <p>山根史雄（豊島高等学校同窓会会長） 丸尾誠一（新千里体育団体連合協議会会長）</p> <p>西谷文和（元豊島高等学校PTA会長） 藤井知佐子（豊島高等学校PTA会長）</p>
<p>校長 羽根隆</p> <p>事務局 松島慎一（教頭）・藤井薫（事務長）</p> <p>甲田也寸志（首席）・杉本美範（指導教諭）・太田垣敏郎（教務部長）</p>	
校長挨拶	<p>学校の近況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来週から始まる中間テストについて。 ・水泳部背泳の部近畿大会出場、女子バスケットボール部近畿大会出場。 ・3年生夏季勉強合宿について。 ・普通科専門コース制への改編について中学校と塾への説明会について。
現状報告と取組	<p>平成27年4月からの行事について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 校長より <ul style="list-style-type: none"> ・「豊中進学フェア」について ・文化祭などの学校行事を終えて 2. 教頭より <ul style="list-style-type: none"> ・第1回授業アンケートについて
質疑・応答	<p>A委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業アンケート」の他校との比較は可能ですか。 <p>校長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他校との比較はできない。 <p>A委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大部なアンケートを巡る色々な手間よりも、先生方には授業づくりに専念してもらいたい。 ・先生の評価を数値化することは難しいのではないかと。数値化には疑問である。 <p>B委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学では20年前のその議論をおこなった。大学では各授業の中間の8回目の授業で学生にアンケートを取り、改善案を教員に求め、2回目のアンケートで結果をみている。 <p>C委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは、生徒の教員に対する感情的な部分が反映されるのではないかと。あの先生の授業はよかったなあというのは、卒業してからわかることも多いので、アンケートの数値に意味があるとは思えない。 <p>D委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校でもアンケートを取る。数値の鵜のみは危険だが、豊島高校のアンケートが全体的に高いことはよいことだ。また、生徒に厳しい先生は数値が低くなる傾向があることも確かだ。
現状報告と取組	<ol style="list-style-type: none"> 3. 教務主任より <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度教科書採択について
質疑・応答	<p>E委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全」「選択」の意味は何か。 <p>豊島①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全」は全員必修で、「選択」は選択者のみ購入する教科書である。学校設定科目は教科書を買わなくてもよい。 <p>E委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何社くらいから教科書を選ぶのか。 <p>豊島①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科によって異なる。数学は5社ほど、社会科は10社くらいではないかと。

	<p>A 委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学では4年に1回の選定で、高校では毎年選定ですね。
協 議	<p>1. 校長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度 学校経営計画の進捗状況について（語学研修を含む）。特に、Moodle を使った電子媒体の課題について、映像を交えて説明。 <p>2. 指導教諭より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度 学校経営計画の進捗状況の中の、キャリアデザインと校内研修についての報告。 <p>3. 教頭より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「普通科専門コース制」について。
質疑・応答	<p>A 委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遅刻者減の取り組みについて、遅刻しそうになれば欠席する生徒がいるのではないかと豊島学校長 ・ 昨年度は確かにそういう生徒もいたが、今年はほとんどいないのではないかと。
協 議	<p>4. その他</p> <p>A 委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内にWiFi を引くことに対して、半月ほど前に、先生や保護者の方から議論して欲しいと依頼があったので、もし宜しければ、議論の俎上に乗せたい。（以下、質問骨子） ・ Moodle を使った電子媒体の課題について、スマホやパソコンを持っていない生徒はどうするのか。 ・ アメリカでは、スマホやインターネットに入り込まずに、上手に使う大学や企業が業績を上げていくが、Moodle の導入で、勉強の効率は逆に下がらないのか。 ・ ライン上の会話のは怖いし、ネットは自動車と同じで、上手に使う必要がある。電磁波も上手に使わなければならない。スマホを持たせないという方針の家庭には、課題をどうするのか。 ・ ネットは上手に使う必要があり、Moodle で課題を出すという制度を作ることはどうなのか。 ・ 私の問題意識は、ネットから逃れた方が教育が進むのではないかとということ。子ども達のために具体的にどうすべきなのかを検討していきたい。 <p>C 委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭の方針があり、A 委員の懸念はよくわかる。紙での問題も作り、また Moodle にアップするというのは、時間がかかるのではないかと。 <p>B 委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校協議会で議論する問題ではないのでは。 <p>D 委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校協議会は、生徒が家庭を少しでもするようにという課題に対して議論するものであり、Moodle についてもやってみないとわからないことであり、また WiFi の電磁波についても私たちにはわからないことである。中学3年生で、6割はスマホを持っているのが現実である。 <p>校長（骨子）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スマホや家にパソコンがない生徒については、学校から貸し出す等検討する。又は、紙で宿題を出すなどで対応していきたい。 ・ インターネットの利用についての負の影響、電磁波、コンピューターを教育に利用することの是非の3つの内容が錯綜している。協議会での話しになじまないのではないかと。